



魅力ある生物教育をどう実現するか

— 高校生物の新しい方向性について —

2024年12月21日（土） 14：50～18：35

東京大学弥生キャンパス 弥生講堂・一条ホール

— プログラム —

14:20 シンポジウム受付開始

14:50 開会挨拶 東原和成（生科連代表）

15:00 趣旨説明 片山豪（生科連 生物教育・大学入試問題検討委員会委員長）

15:10 講演（各20分×5人）

- ・ これからの生物教育の在り方を考えるために
藤枝秀樹（文部科学省）
- ・ 探究過程を取り入れた生物教育の実践事例
佐野寛子（東京都立小石川中等教育学校）
- ・ 魅力ある生物教育は生物選択者を増やせるか
田中秀二（京都府教育委員会）
- ・ 学習における探究の課題と大学入試
園池公毅（早稲田大学）
- ・ 「ヒトの生物学」は生物か保健体育か？
— 病気とクスリのリテラシー教育と専門教育 —
安西尚彦（千葉大学）

16:50 10分休憩

17:00 「つぶやきフォトコンテスト」表彰式

17:20 パネルディスカッション

モデレーター：片山豪 パネラー：講演者5名

18:30 閉会挨拶 宮下直（生科連副代表）

18:40 意見交換会 東京大学農学部生協食堂

※ 意見交換会に参加される方は会費3,500円を受付でお支払いください。



<シンポジウム参加申込（参加費無料）>

下記のURLまたは、右のQRコードから
申込みフォームに入り、
必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/nGBeX8bvpbRBhxtg6>

（オンライン配信も予定しております）



主催：生物科学学会連合

後援：日本学術会議

